

# 元気一番！商店街

2014.3  
第29号

## 1 はじめに

だんだんと春が感じられる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

「元気一番！商店街」では、様々な活動を通じて魅力ある商店街づくりに向けた、「元気な取組み」を行う商店街の情報をお伝えしていきたいと思っております。

年度の変わり目で忙しい時期とは思いますが、引き続きご愛読をよろしくお願いいたします。

## 2 野田新橋筋商店街振興組合（福島区）

さて、本号では、阪神本線野田駅と地下鉄千日前線野田阪神駅の南側、JR環状線野田駅の北側に位置する「野田新橋筋商店街振興組合（福島区）」に伺い、商店街の取組みに加え、理事長がお勧めするお店「川繁」取材してきました。

### (1) 商店街活性化への取組み

野田新橋筋商店街は福島区で唯一のアーケードがある商店街で、老舗から新しい個店までいろいろな店舗が存在しています。



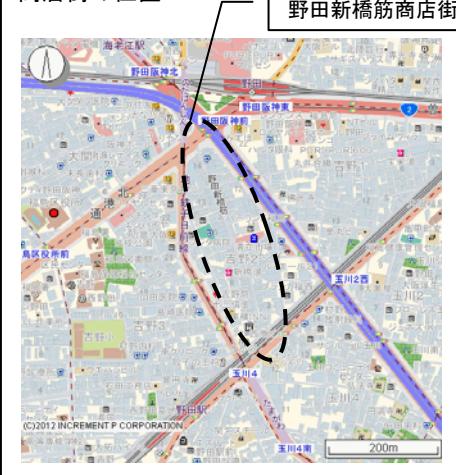
商店街では、福島区の花「のだふじ」

にちなんで命名された商店街のポイントカード「のだふじカード」を発行して、商店街の利用者に利益還元を行っています。

また、毎年7月の「夜市」や、ガラガラ抽選会などの様々なイベントも実施しており、商店街の活性化に向けて積極的に取り組んでいます。

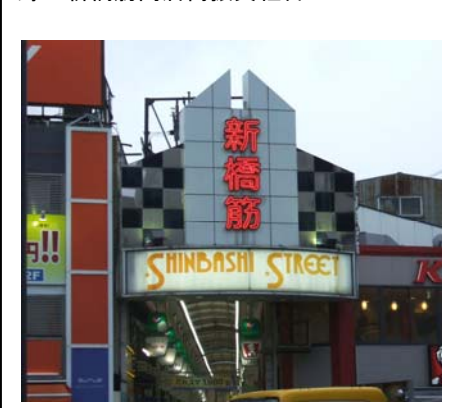
最近では“野田新橋筋100縁笑店街”と銘打った「100円商店街」が新たな名物となっており、各店が知恵を絞った厳選商品が100円で販売されています。次回の「100円商店街」開催は4月26日（土）に予定されていますので、足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

商店街の位置



野田新橋筋商店街（振）

野田新橋筋商店街振興組合



## (2) 野田新橋筋商店街振興組合理事長へのインタビュー

野田新橋筋商店街振興組合の理事長の平野さんに、商店街の取組み等について伺いました。

理事長の平野さん



「野田新橋筋商店街は鉄道各社の駅の近くに位置し、毎日多くの人が行き交う商店街ですが、近年では、近隣の商業施設の影響や、地域住民の高齢化に加え、後継者不足等の商店街が抱える問題もあり、来街者が減少するなど、厳しい状況になっています。そうした中でも、お客様に対する取組みだけでなく、『出店したくなる商店街づくり』にも取り組んでおり、その結果、空き店舗にも新しい店舗が呼び込んでいるなど、商店街の活性化が図れていると思います。また、近隣地域と連携した賑わいづくりに

も努めており、商店街として、区民祭りや地域主催の行事に精力的に参加しています。今後は、昔からの顔なじみのお客様を大事にしつつ、新たに若い世代のお客様にも訪れてもらえるような、幅広いお客様で活気あふれる商店街にしたいと思います。」

理事長ご自身が商店街の中で生まれ育ってきたとのことで、地域と商店街への思い入れが強く感じられました。

## (3) うなぎ専門店「川繁（かわしげ）」

商店街の北側入口からほど近いところに「川繁」があります。創業から60年以上続く老舗店舗で、現在の店主の岡本さんで三代目となります。もともとは、うなぎ丼などを提供する食堂として営業していましたが、現在では、持ち帰りのみの「うなぎ専門店」として営業しています。

「美味しいうなぎを提供するために、仕入れや串打ちから味付けに至る全ての工程にこだわっており、うなぎのたれは創業当初から受け継いできたものです。うなぎのかば焼きは“うなぎの個性が出る”料理で、同じように焼いても、個々のうなぎの持つ肉質やタレの乗り具合によって、食感や味がそれぞれ違ってくるため、お客様の好みを聞いて販売するようにしています。」

「川繁」のうなぎのファンは多いようで、近隣の常連さんはもちろんのこと、さらには関西圏のみならず、遠くは東京などから買いに来られるお客様もいらっしゃるそうです。

店舗の様子（店主の岡本さん）



創業時からのうなぎのたれ



「決して楽な仕事ではありませんが、これからも、お客様の笑顔のためにうなぎの味を守り続けていきます。」

取材中、うなぎを買いに来られたお客様に、自宅での温め方などを丁寧に説明されていた姿がとても印象的でした。

店舗内の様子

